



3月園だより

令和8年3月2日
目黒区立原町保育園園長

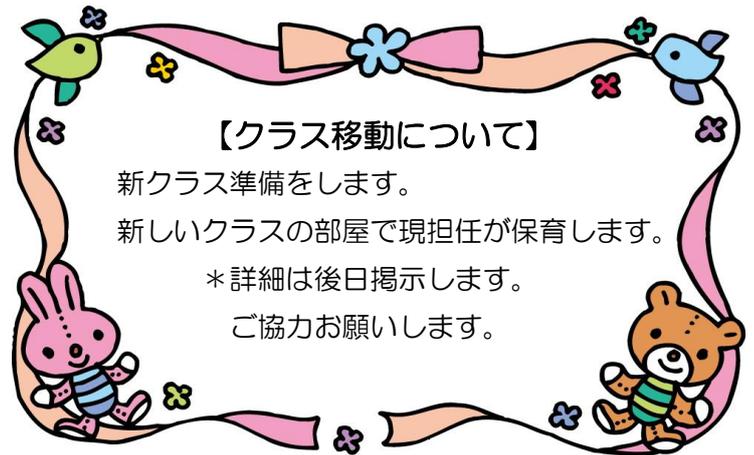
三寒四温の気候ですが、子どもたちは園庭や散歩先で元気に遊んでいます。園庭では、5歳児が小高くなった築山の斜面を利用して新しく出した雨どい風遊具の角度を調整しながら組み合わせ、ボールを下まで転がす遊びを研究しています。ボールを転がして見せて「ここが坂道になってるからスピードが出るんだよ」と誇らしげに解説してくれました。築山の反対側にある1歳児室テラスの段差を利用して3歳児が同じ雨どい風遊具を1つだけ使ってボールを転がす坂道にしています。「ボール転がるのかな?」と聞くとコロコロとゆっくり転がして見せてくれました。「すごいね～お兄さんのみたいに転がったね」と声をかけるとにっこり嬉しそうにしていました。このように園庭では憧れの年長児の姿を自分の遊びにも取り入れ、直接教えてもらうこともあれば、見て学ぶこともあります。子どもたちの考える力、やってみようとする気持ちが素敵だと感じました。

1、2月の懇談会には、保護者の方々に出席していただき1年間の子どもの成長を共有できたことに感謝いたします。保護者の方も子どもの成長に合わせて関わり方を変えるなどご家庭での工夫を伺うことができ、今後ご家庭と共に子どもたちの成長を見守り支えていきたいと思いました。

1年間保育園運営にご理解ご協力いただきましてありがとうございました。



- 卒園式 (5歳児)
- お別れ散歩 (3. 4. 5歳児)
- ポニー教室 (5歳児)
- お別れ会
- 身体計測、避難訓練



【クラス移動について】

新クラス準備をします。
新しいクラスの部屋で現担任が保育します。
*詳細は後日掲示します。
ご協力をお願いします。



のびよう会を終えて さくら組・ぽぷら組

のびよう会が終わってから本番とは違う役になりきって劇の再現遊びをしています。さくら組の部屋では劇で使った舟や衣装を用意しておく、やりたい役の衣装を着て遊び始めます。劇の再現をしていたのですが途中から「いらっしゃいませ」「ご飯できたよ」など劇にはない台詞が聞こえてきて、ご飯を運んでくると船の上でご飯を食べ始めました。劇とは違う展開になっているのですが、劇中の動物になっていることは忘れることなく、その動物らしい動きや話し方をして楽しんでいました。



ぽぷら組では当日とは違う役になって劇の再現をみんなでしました。初めてやる役にワクワクして大きな声で台詞を言っていたのですが途中で「…あれ?何だっけ?」と台詞を忘れてしまう場面がありました。当日にその役だった子がすぐに「〇〇だよ」と教えてくれ「あ、そっか」と再開し、みんなで笑っていました。再現遊びならではのやりとりをして友達同士での掛け合いを温かい雰囲気の中で楽しみました。当日とは違う役になったり、当日にはない台詞を加えて言ったりしながら友達と一緒に劇の再現遊びを楽しんでいます。

1年間でこんなに大きくなりました



0歳児クラス（かえで組）

保育士と安心して過ごす中で、周りの人や物に興味を持つようになってきました。「プープ」と車の玩具を出してきたので「車で遊ぶのね」と保育士が道路やトンネルを作るとニコリと笑って座り、車を走らせています。その様子を見ていた友達が同じ車を持って来て隣に座り、同じように遊び始めました。走らせているうちに車同士がコツンとぶつかり「きゃ〜」と1人の子が笑うと相手も「きゃっきゃ」と笑い、2人で顔を見合わせて喜んでいました。他の場面でも嬉しそうに友達と同じことをして遊び、新しい遊びにも興味を持ってやってみる姿が増えています。この1年で心も体も成長した子どもたちの今後の成長も楽しみです。



2歳児クラス（いちよう組）

保育園ごっこなど、経験したことをイメージして楽しんでいます。「変わらないでーす」と言ったり「今日は、はやおむかえです」と嬉しかった経験も遊びを通して再現しています。狭い場所にぎゅうぎゅうになりながら皆で人形を寝かしつけたり、1人の子が洋服を着替えさせると「あ、この子うんちしているわ」と次々に取り替え始めたりし、友達とイメージを共有しながらやりとりして更に楽しんでいます。初めは自分と保育士だけで遊んでいた姿から友達が一緒の方がいい！という姿に変わってきました。この1年間でたくさんの場面を通して友達関係が広がっています。

4歳児クラス（ぼぶら組）

室内遊びでは、折り紙・カードゲーム・将棋が流行りました。初めは「どうやってやるの？わからない」「やって！」と保育士に助けを求めることが多かったのですが、できるようになった子が「教えてあげる」と言ってくれたり「これ〇〇ちゃんできるから、聞いてこよう」と聞きに行くようになってきました。その中で「〇〇ちゃんすごいね」「〇〇ちゃんって将棋強いよね」と友達を認める姿も増えてきました。勝ちたい気持ちから自分が有利になるように進めようとするもありますが、ルールを守るとみんなで楽しく遊べることにも気づき始め、気持ちの折り合いをつけながら自分たちで遊びを進めてようとしています。これからも友達と思いを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを沢山感じていけるようにしていきます。

1歳児クラス（くるみ組）

庭で、年上の子どもが遊ぶ姿を見て真似をすることが多くなってきました。以前は鉄棒ブランコを興味津々で見に行き、代わってもらってやってみるものの縄をまたぐのも一苦労でした。今では自分で縄やバスマットを運んできて「ブランコやりたい」と言ってくるようになりました。縄にお尻を乗せて揺らすことができるようになってきて誇らし気です。まだ慣れていない子が来ると「座って」と縄に腰掛けることを教えています。好きな遊びを通して「自分もやってみよう」と思ったり、できた喜びや楽しさを友達とも共有しながら沢山味わっている子どもたちです。

3歳児クラス（さくら組）

かるたや絵合わせカードが大好きで「一緒に遊ぼう」と友達を誘って楽しんでいます。かるたの札に同時に手を置き「今取ったのは僕だよ」「違うよ！」と互いの思いがぶつかる場面があります。その時に「今〇〇くんの手が下だったね」「同時だからじゃんけんで決める？」と子ども同士でやりとりする姿も見られるようになってきました。自分の思いを言葉で伝えたり、相手の気持ちにも少しずつ気づけるようになってきた子どもたちです。友達のことが大好きで、友達と一緒に遊ぶことの楽しさや心地よさを感じています。



5歳児クラス（くすのき組）

2月初めは節分会、劇発表会と行事が続きました。節分会では「鬼来るかな」と不安そうな友達の声を聞いた子が「鬼をやっつけるぞー」と拳を高く上げて言うと、周りの子も一緒に「鬼を皆で倒すぞー」「おー」と掛け合いが始まりました。本当は怖い鬼も皆で声を出すことで恐怖感が薄れているようでした。劇発表会も友達と台詞の掛け合いを楽しんだり、友達の表現に合わせて効果音を鳴らすなど皆で協力してやり遂げました。行事や日々の遊びの中で、友達と思いを出し合い一緒に考えて進めてきたことで互いに協力し合うようになり、仲間との繋がりが深まっています。

